



# Web Fairy Paradise

改訂版 2010/12/22

**第30号**

## 今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第29回WFPフェアリー作品展
- ・ 推理将棋40回出題
- ・ OFM 第166回出題
- ・

## 結果発表

- ・ 第28回WFPフェアリー作品展
- ・ OFM 第165回出題
- ・ 推理将棋第39回出題
- ・ 持駒最多のばか詰
- ・

## 読み物

- ・ 妖精賞の系譜(17)
- ・ 1手詰コンクール追記3



**2010/12**

## はじめに



今年もあと10日を切りました。歳を重ねると一年が早いんですね。来年は兎年ということで早い方はもう年賀詰を創っていることでしょうが、私はいつもぎりぎりですので大した物は出来ないので来年は良い事がたくさんありますように・・・少ないお賽銭でお祈りする予定です。

WFPもおかげ様で約2年半で30号となりました。これも一重に各担当者の方々、解答者、読者の皆さんのおかげと感謝感謝の気持ちで一杯です。来年もまたよろしく願いいたします。

さて来年のWFPですがメインの作品展であるWFPフェアリー作品展の担当者が新しくなります。第2号より担当を頂きました紅月花煉さんに変更し新しく神無七郎さんが新担当としてやっていただける事になりました。但し神無一族の氾濫結果稿の時期と重なる月に付きましてはお休みとなることとなり、来年2月号よりということになると思います。力強い協力者を得ることが出来ましたので、私の見落としもなるべく少なくなるよう努力をしていきたいと思っております。

新しい投稿・解答要項も送ってきて頂きましたのでちょっと早いですが掲載させて頂いております。是非ともたくさんの投稿・解答よろしくお願いいたします。

紅月さんお疲れ様でした。本当に有難うございました。(まだ結果稿はありますし、ときどきは助っ人をお願いする予定です)

## 【募集】

### 作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

### 読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

### 感想

第30号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：[takuji@dokidoki.ne.jp](mailto:takuji@dokidoki.ne.jp)

---

### 協力いただいている方々のHPアドレス

\* ご協力感謝します

#### 妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

#### 詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

#### 詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

#### Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

#### K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

#### イラスト・素材提供：幻想素材サイトFirst Moon

<http://www.first-moon.com/>

\* 表紙のイラストを使用させて頂いております。

[ 作品投稿要項 ]

- 1) 作品投稿は随時受け付けています
- 2) ルールは不問です。フェアリー系ルールならばかしこでも可です(安南詰 etc)
- 3) FM 等で検討済みの場合はその旨を付記して下さい
- 4) FM 等で検討出来ない場合は検討の手伝いをします

[ 解答要項 ]

解答締切：平成23年 1 月 15 日

本作品展は、正式発表とし TOP IX の対象となります。また解答のコメントは結果発表にて掲載いたしますのでご了承下さい

作品投稿及び解答は

webfairyparadise\_you@yahoo.co.jp

をお願いします

余詰・近況報告は

<http://circe-pro.cocolog-nifty.com/blog/>

で行っています。確認の上、解答下さい

【ルール】

【協力詰】

先手後手協力して最短手数で受方玉を詰ます

【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方玉を詰ます

【スタイルメイト】

合法的な着手がない状態にする

【安南】

味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる

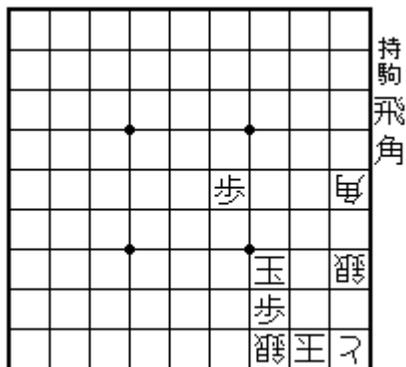
【前置き】

前回の私の誤図の影響で作品が生まれたようです。喜ばしい事なのか、悲しむべき事なのか。今回は大丈夫なはずですが……そんな訳で安南特集。忙しい年末年始にゆっくりにお楽しみください

【妖精】

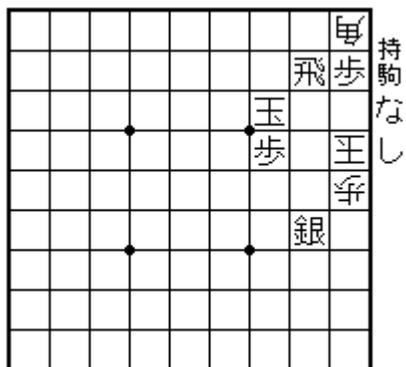
【第壱番】 たくぼん氏作

協力詰 13 手



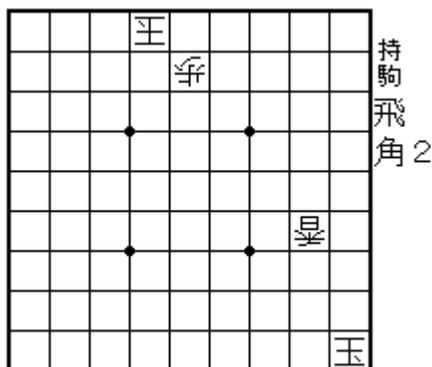
【第貳番】 たくぼん氏作

協力詰 15 手 (後手持駒なし)



【第参番】 神無太郎氏作

安南自玉スタイルメイト 8 手



【第四番】雲海氏作  
安南協力白玉詰 14手

皇	王	飛	王			王	飛	王	皇
	王							王	
王		王	王	王	王	王	王	王	王
	王						王		
							王		
王		王	王	王	王	王		王	王
							王		
王							王		
皇	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	皇	

持駒なし

【第五番】雲海氏作  
安南協力白玉詰 14手

皇	王	飛	王			王	飛	王	皇
	王							王	
王	王	王	王	王	王	王	王	王	王
	王						王		
		王					王		
王			王	王	王	王		王	王
							王		
王							王		
皇	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	皇	

持駒なし

来年よりWFP作品展の担当が現在の紅月花煉さんから神無七郎さんに交替します。それに伴いまして新担当の神無七郎さんより新しい投稿・解答要項が届いておりますので掲載いたします。

WFPフェアリー作品展 解答・投稿要項  
神無七郎

【解答される方へ】

- 1) 解答締切は出題翌月15日です。変更がある場合はその都度お知らせします。
- 2) 解答の送り先は下記のアドレスです。  
janacek789@ybb.ne.jp
- 3) 解答メールの件名は「解答」の語句を含むようにしてください。(迷惑メール扱いされないため。)

- 4) 出題作品やルールに疑問があるときは上記アドレスにお問い合わせください。ただし、解答自体や正解・不正解についてはお答えできません。
- 5) 解答のコメントは結果発表にて掲載いたします。

【作品を投稿される方へ】

- 1) 作品投稿は随時受け付けます。
- 2) 作品の送り先は下記のアドレスです。  
janacek789@ybb.ne.jp (解答の送り先と同じ)
- 3) 投稿メールの件名は「作品投稿」の語句を含むようにしてください。(この語句を含まなかったり、単に「投稿」だったりすると迷惑メール扱いされる恐れがあります。)
- 4) ルールはフェアリー系のルールであれば何でも構いません。
- 5) 担当者による検討は原則行いません。多少のお手伝いはできるかもしれませんが、投稿作の完全性の確認は自己責任でお願いします。
- 6) 不完全作、類作など出題に適さない事由がない限り投稿作はすべて掲載します。ただし、分量や投稿時期の関係で掲載時期の調整を行う可能性があります。

【作品展の開催について】

現在WFPフェアリー作品展は毎月開催の常設展ですが、担当の都合により6月と12月は開催ができません(「神無一族の氾濫」と重複するため)。申し訳ありませんが、この6月号、12月号に関してはお休みさせていただきたいと思っております。

【発表作品の扱いについて】

WFPフェアリー作品展での発表は正式発表となります。こちらで発表された作品を詰パラなど他媒体へ再投稿することはご遠慮ください。また、発表作品は本誌で年1度催される優秀作表彰制度である「Fairy TopIX」の投票の対象となります。

開催日 : 2010年12月19日(日)  
 解答締切 : 2011年1月8日(土)  
 解答発表 : 2010年1月9日(日)

協力詰 33手 (兎:銀兎)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
				王					二
				兎					三
				兎					四
				王					五
									六
									七
									八
									九

攻方持駒 なし

受方持駒 なし

【ルール説明】

協力詰 (=ばか詰)

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

兎 (銀兎)

				兎				

泰将棋または大局将棋の銀兎。  
 斜め後ろに何マスでも動け、斜め前に2マス動ける。飛び越えては行けない。この問題では銀

兎は成りません。

本作の解答をメールで管理人宛  
 (janacek789@ybb.ne.jp) にお送りください。

コメント

先月の末に常用漢字表が改定されました。前書きに「この表は、科学、技術、芸術その他の各種専門分野や個人人の表記にまで及ぼそうとするものではない」と書かれている通り、この表にない漢字を使ってはいけないということではありませんが、面白そうなので詰将棋関連の漢字をチェックしてみました。

まず、常用漢字表には駒文字の「桂」がありません。そういえば、「桂」を使うのは地名や人名くらいで、私も頻繁に使うのは将棋だけです。更に成桂や成香を1文字で代替するための「圭」や「杏」もありません。詰将棋の世界では頻繁に使われる文字ですし、将棋関連ソフトの棋譜形式(.kif形式等)でもポピュラーな文字ですが、やはり日常生活で使う文字ではないせいでしょう。

詰将棋で使われる用語についてはどうでしょう。例えば「馬鋸」などで使われる「鋸」がありません。「吊し詰め」の「吊」もありません。でもすぐに思いつくような言葉は案外常用漢字で表せることが多く、とりあえずは安心して良さそうです。仮に、字・読み・送り仮名が常用外の場合でも「これは専門用語だ!」と言い張れば良いだけなので、あまり気にする必要はないのでしょう。

そうそう「神無一族の氾濫」の「氾」の字は、今回の改定で常用漢字に盛り込まれました。まさか「神無一族の氾濫」のせいで使用頻度が増えて常用漢字に……なんてあり得ないでしょうけど。

さて、今回出題の作品は一足早い年賀詰です。卯年にちなんで古将棋の「銀兎」という駒を使っています。「銀兎」が成ったときの駒は泰将棋では「金」、大局将棋では「鯨鯢」ですが、本局は成らない設定です。見慣れない駒ではありますが、「銀兎」は前方への利きの長さが制限された角と想像いただければ良いでしょう。受方の持駒も制限されている(合駒がない)ので、突飛な手筋が出る心配はありません。ちなみに「兎」は今も常用漢字表にはありません。日本ではまだ外来生物扱いなのですね。(担当:神無七郎)

推理将棋第40回出題

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第40回出題です。はじめての方は

どんな将棋だったの? - 推理将棋入門

([http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post\\_53f2.html](http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post_53f2.html)) をごらんください。

解答、感想はメールで2011年1月20日までに TETSU まで (omochabako@nifty.com) メールの題名は「推理将棋第40回解答」でお願いします。

推理将棋第40回出題 担当 タラパパ

いくつになっても、お正月というのは楽しいものです。新年を迎えて気が引き締まる。テレビでは、年末年始特別番組がわんさと流れて、おせちを食べてお雑煮を食べながら眺める。そしてもちろん、休暇を使っていつもより出題の多い推理将棋を楽しむ。

てなわけで、今年の新春出題数は5題(実質6題)です。手はじめは前回不完全に泣いた夏休みさん、正月休みにリベンジ。条件を見て一瞬「げげっ」と驚かさずにはおかない、驚異の一発芸! 次は話題の『シリーズ物』を豪華フルセットで3局一挙に放出。手数が長いからと敬遠しないでください。40-2は15手まで紛れゼロですし、特殊な条件なので、解く人によっては初級よりも考え易いでしょう。ここまでは、易しいとは言わないものの、お屠蘇気分楽しんで下さい。

トリは厳しいですぞ。来年度から詰パラの推理将棋コーナーを担当される渡辺秀行さんの同一局面詰。高い創作力と検討力が要求されます。めくら滅法では解けません。脳みそをフル稼働させて下さい。担当は『ある地点と、ある地点の共通の利きは何処か?』から解きました。

40-1 初級 夏休みさん作

1度に8マス移動できる駒 9手

わずか9手で最大移動できる駒は一つだけ。その駒の邪魔をしないで。

40-2 中級 DD++さん作

左から打つべし 21手

手数が長くても15手目まで絶対手の連続、16手目も絶対ですが好手。

40-3 中級 DD++さん作

上から打つべし 13手

40-2よりも歯ごたえあり。8~9手が詰将棋にはありえない組手筋。

40-4 中級 鈴木康夫さん作

右から打つべし 29手

金は取れる形を作り満を持して取ります。収束が上手くできています。

40-5 上級 渡辺秀行さん作

とどめは初手の跡地 10手

なぜ駒成をわざわざ”自陣からの”と謳ったのでしょうか?

40-1 初級 夏休みさん作

1度に8マス移動できる駒 9手

「隣の将棋は凄いな。一度に8マス移動する手を指したよ」(※)

「しかもその駒は、そのあとさらに動いたぞ」「あれれ、9手で詰んじやった」

どんな将棋だったのでしょか。推理してください。

(条件)

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 1度に8マス動いた駒が、そのあとさらに動いた

※ 例えば、99角が11に動く、19香が11に成るような動き。

40-2 中級 DD++さん作

左から打つべし 21手

「昨日面白い将棋を見たんだ。」

「ほう、どんな将棋だい」

「まず5手目に9筋に駒を打って王手がかかったんだ」

「いきなりか、急戦だな」  
「続いて9手目、また9筋に駒を打って王手がかかったんだ」  
「変な王手が好きなやつだな」  
「そして13手目・・・」  
「おいおい、13手目も17手目も21手目もなんて言わないだろうな」  
「よくわかったね。ちなみにその21手目で詰みだったよ」  
「あきれた将棋だな」  
「ちなみに、成る手、後手の駒打ち、金の手は全てなかったよ」

さてどんな将棋だったのでしょうか？

(条件)

- ・ 21手で詰んだ
- ・ 5手目から4手毎に9筋に駒を打つ王手があった(5、9、13、17、21手目)
- ・ 成る手なし
- ・ 後手の駒打ちなし
- ・ 金の手なし

---

#### 40-3 中級 DD++さん作 上から打つべし

13手

「昨日面白い将棋を見たんだ。」  
「ほう、どんな将棋だい」  
「まず5手目に1段目に駒を打って王手がかかったんだ」  
「なんか嫌な予感がするぞ」  
「続いて9手目、また1段目に駒を打って王手がかかったんだ」  
「この話の流れはいつもの・・・」  
「そして13手目、1段目に駒を打って詰んだんだ」  
「えっ、もう詰んじゃうの？」  
「ちなみに、52に着手されたのは金だけだったよ」

(条件)

- ・ 13手で詰んだ
- ・ 5手目から4手毎に1段目に駒を打つ王手があった(5、9、13手目)

- ・ 52に着手されたのは金だけ

---

#### 40-4 中級 鈴木康夫さん作 右から打つべし

29手

「昨日面白い将棋を見たんだ。」  
「ほう、どんな将棋だい」  
「まず5手目に1筋に駒を打って王手がかかったんだ」  
「いきなりか、急戦だな」  
「続いて9手目、また1筋に駒を打って王手がかかったんだ」  
「変な王手が好きなやつだな」  
「そして13手目・・・」  
「おいおい、13手目以降も4手毎に1筋に駒を打って王手がかかったなんて言わないだろうな」  
「よくわかったね。ちなみに29手目で詰みだったよ」  
「あきれた将棋だな」  
「ちなみに、成る手はなかったね。先手の取った小駒は金が1枚のみだったけれど、その金は打った後動くことは無かったよ」

(条件)

- ・ 29手で詰んだ
- ・ 5手目から4手毎に1筋に駒を打つ王手があった(5, 9, 13, 17, 21, 25, 29手目)
- ・ 成る手なし
- ・ 先手の取った小駒は金が1枚のみ
- ・ 金は打った後動くことがなかった

---

#### 40-5 上級 渡辺秀行さん作 とどめは初手の跡地

10手

A君「10手で詰んだ変な将棋を見たよ。これが終局図さ」  
B君「あれ？僕が見たのも10手で全く同じ終局図だよ。最初の図はどうだった？」  
A君「もちろん、この図さ」  
B君「おっ！僕が見たのも全く同じだよ！これは奇遇だねえ」

# Onsite Fairy Mate 第164回出題解答

開催日 : 2010年11月14日(日)

解答発表 : 2010年12月12日(日)

A君「何を馬鹿言ってるんだよ。最初の図が同じなのは当たり前だろ！」

B君「あっ、そうか。では3手指した図はこれだったんだけど」

A君「僕が見たのも同じだよ。とどめの着手は初手に着手した駒の元の位置だったんだ」

B君「つまり初手が26歩だとすると、その歩の元の位置は27だからとどめは27ってことだよ

ね。僕も同様だったよ。あと、先手が最後9手目に大駒を打ったのを見たよ」

A君「そうか、僕は6手目に後手が自陣の駒を動かして成っていたのを見たね」

B君「ということは飛角香のどれかを4マス以上動かしたってことか」

A君「そういうことになるね」

(共通条件)

- ・ 10手で詰んだ
- ・ 3手指した局面も、終局図も、他方の見た将棋と同じ
- ・ 最終手の着手地点は、初手の着手駒の元の位置

(A君の見た将棋の条件)

- ・ 6手目は自陣からの駒成

(B君の見た将棋の条件)

- ・ 9手目は大駒打ち

A君の見た将棋とB君の見た将棋は、同一ではありません。両方の手順を教えてください。

神無七郎 作  
対面協力自玉スタイルメイト 36手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		と	と	と	と	と		王	一
		と	と	と	と	と	と		二
		と	と	と	と	と	と	と	三
									四
								王	五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

【手順】

14と 同玉 24と 同玉 34と 同玉  
44と 同玉 54と 同玉 64と 同玉  
74と 同玉 73と 同玉 72と引 71桂  
63と 同玉 62と引 61桂打 53と 同玉  
52と引 51桂打 43と 同玉 42と引 41桂打  
33と 同玉 32と引 31角 23と左 22角  
まで 36手

神無七郎 作  
対面協力自玉スタイルメイト 36手 (最終形)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		桂	桂	桂	桂			王	一
		と	と	と	と		馬		二
						王	と		三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

## 【解説】

本作は桂4枚を対駒として発生させる素材に収束と序奏を付けた作品です。

特に最終手は「王手を掛けていない攻方の駒を玉以外で取る」という、普通の詰将棋ではお目にかかれない手が登場しており、「対面」という性能変化系ルールの特徴が出ていると思います。ただ、ここからの逆算はやや疑問。桂4枚を発生させたからには角も2枚登場させるようにするか、何か伏線が入るよう工夫すべきだったと思います。とりあえず「と金」18枚を配置できて形は整いましたが、手順は少々薄味になってしまった感が否めません。

【正解者及びコメント】（正解6名：到着順）

### NAOさん

収束形は、二つ（桂対と角対）を組み合わせたものでしょうか。桂が品切れになって最後、34手目から36手目の移動対？が好手でした。

☆ 今回の解答一番乗りはNAOさん。「このルールならなんとかついていけそうです」とのことですが、NAOさんなら慣れ次第でどんなルールでも余裕で対応可能な気がします。

### 北村さん

と金18個で36手なので、各と金でそれぞれ1回ずつ王手するんだな、と思ったんですが、どうも詰まない。しばし悩んだら・・・いやしかし2二のと金がカワイそうすぎる（涙）あまりに単調にしないのが、さすが七郎さんの腕、と思いつつ2二と、も何かさせてあげたかった気がします。

☆ 本局では攻方の置駒が玉以外によって取られるというのが狙いのひとつだったわけですが、ステイルメイトでは余詰防ぎのために「取られるだけの駒」を置く必要がしばしば生じます。紛れや不利感を増すために、「取られるだけの駒」は（玉の逃げるコース上で取られる駒は特に）置かずに済ませたいのですが、なかなか思うようには行きません…

### たくぼんさん

残り4手で熟考・・・桂が足りない・・・序に戻って伏線は・・・????・・・そうそう角がありました。

☆ 伏線は入れたかったですねえ。序盤で桂対を入れるような形も考えてはみたのですが…やはり「と金」18枚にこだわらず、手順の密度を増す方向で逆算すべきだったようです。

### 変寝夢さん

最後の5手勝負。35手目を22とばかり動かして苦労した。初形と詰め上がりを比べたら面白かった。

☆ 変寝夢さんは本サイトでは初解答。実力者の解答参戦は嬉しい限りです。本サイトだけでなくWFPでもぜひ活躍されることを希望します。

### 隅の老人Bさん

解図途中では煙るかな？でしたが、桂打発見でどうにか解図。いつもながら上手いなと感心。これで今年も暮れて行く。

☆ と金18枚配置は確かにミニ煙を予想させてしまいますね。本局は煙のように消えるのではなく、壁に張り付いて錆を生じさせるので、さしずめ酸性雨詰でしょうか。

### 雲海さん

こんな綺麗な形が完全というのが驚きです。ただ71桂からの対面らしい手順に比べて、3段目のと金を捨てる手順に対面らしさが全く無いのがやや気になってしまいました。

☆ 雲海さんの仰る通り、3段目のと金の捨てる方は何とも物足りないですね。序に発生させた駒の利きが収束で初めて消えるような構成にできればよかったのですが…

☆ 今回は問題が少し易しかったようで、解答者は6名に増えました。次回の出題は一週間後（12月19日）ですが、いろいろ予定も立て込んでいる（新約・神詰大全の原稿作成など）ため、ちょっと前倒しで年賀詰の出題を予定しています。次回もよろしくお祈りします。

おまけ1：

出題時のコメントで紹介した湯村氏の資料ですが、「詰棋めいと」第 10 号（1990 年 3 月発行）の酒井桂史特集向けの資料でした。「酒井桂史傑作選」と題されたその原稿には、その資料からいくつか追加・変更があり最終的に 23 題が紹介されています。

「詰棋めいと」をお持ちでない方のために、選ばれた作品とその紹介の見出し文を以下に示します。

### 酒井桂史傑作選（湯村光造）

作品集No.	紹介文
1	二回の遠飛車
2	角の回転
7	不利交換打
11	宗看流の馬捨て
14	不成手筋の代表作
16	玉のジグザグ移動
18	短編の代表作
52	捨て合による歩詰誘致
58	馬のジグザグ移動
61	四香連打の一号局
66	不利合駒
67	連続捨駒による飛車の移動
77	龍、飛捨て合の傑作
82	龍筋通し
83	「死と乙女」の先駆(?)
84	飛車二枚の軽趣向
89	第七十七番の姉妹作
91	二枚馬の追い趣向
92	飛車による金連取り趣向
93	歩詰回避の飛車筋遮断
94	飛車回転+龍斜め追い
99	馬による金連取り趣向
100	「天馬空行」

酒井桂史作品集自体は詰将棋博物館で鑑賞することができます。（ただし 101 番以降は正式な発表作ではないようです）

おまけ 2 :

先日 TMLView を 2.30 版に更新しました。

XML 棋譜の URL を直接指定する機能の追加です。ついでに本サイトでのトップページ出題作をすべて XML 棋譜化してアップロードしました。TMLView の「拡張機能」のボタンで

URL 指定欄が表示されるので、そこで棋譜を指定してください。

上の URL の「probXXX.xml」の XXX 部分に出題回数の番号を指定すると、その棋譜が表示されます。

なお、第 36 回出題のように複数の作品やツインを出題したときは“prob0311.xml”～

“prob0313.xml”のように 4 桁で指定ます。

TMLView の最新版は動く盤面で鑑賞する（Silverlight 版）と書いてあるところのどこからでも利用できますので、適当な場所からリンクをクリックしてご利用ください。あるいは TMLView を表示した状態で右クリックし、インストール操作をすれば、デスクトップからの利用も可能になります。（旧版の TMLView をインストールされている方は、アンインストール後、最新版をインストールしてください。）

（2010.12.12 七郎）

【解答者数】 4 名

【全題正解者】 神無七郎氏

【4 題正解者】 たくぼん氏

【3 題正解者】 雲海氏 隅の老人 B 氏

まずはお詫びから。

誤植にずっと気付かず、また対応できずに申し訳ありませんでした。解答者諸氏には大変迷惑をおかけしました。唯一の救いは誤植から作品が生まれた事位です

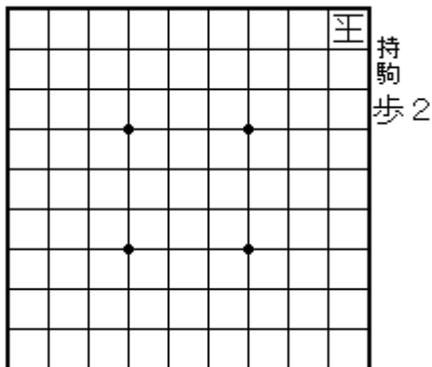
更にお詫び。

安騎のルールが分かりにくかったという方がいらっしやいました。申し訳ありませんでした。理解しやすいように今後は説明文を工夫します

【妖精】

【第壹番】 北村太路氏作

安北協力詰 11 手



【作意】

12 歩 21 玉 11 歩成 22 玉 21 と 23 玉  
24 歩 12 玉 22 と 13 玉 23 と 迄 11 手

【作者コメント】

安北ばか詰裸玉の最長手数を狙ってみました

第 28 回 WFP 作品展の 1 番に掲載していただいた、拙作の安北協力詰ですが、すでにたくぼんさんが裸玉ばか詰リストに登録されているものと同一でした。申し訳ありません。作者のたくぼんさんには心からお詫びいたします 詰将棋メモの裸玉ばか詰最長手数のリストを見て、安北ばか詰が 3 手と記述されていたので、もっとあるだろうと思って今回考えたのですが、たくぼんさんのリストがあるのを忘れて確認していませんでした。すいません。自分の 7 手のも

のも載せていただいていたのに忘れるとは。。。本当に申し訳ありませんでした

【担当者コメント】

更にお詫び。同一作チェックを担当が行うべきでした。今後は気を付けます

安北というルールは安南の逆ルールになります。普通ならと金 2 枚にした方が強いんですがこのルールなら歩のままでも歩が金になるのが面白いですね

全く関係ない話ですが、これを見て、キルケと組み合わせる事で安東と安西でツインとか出来ないかな?とか思いました

【短評】

雲海氏：

安北は初めてなので少々苦勞。裸玉でフェアリーメイトである所がセールスポイントですかね

神無七郎氏：

両王手は突然に — と金を 2 枚作るより、1 枚を歩のままにした方が強力だとは！

隅の老人 B 氏：

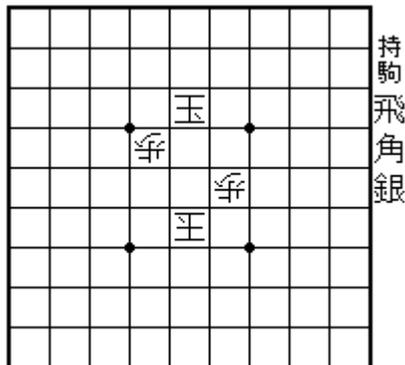
安南詰はよく見かけるが、安北は珍しい？ルールを確認、これでどうでしょうね

たくぼん氏：

過去に自分が発見した作品だったとの事。解くのに頭を悩ましたなんていえないですよ

【第貳番】 神無太郎氏作

Messigny 協力自玉スタイルメイト 10 手



【作意】

59 飛 58 飛 同飛 /59 飛 同飛成 57 銀  
53 玉 /56 王 17 角 44 角 同角 /17 角

同角成 迄 10 手

【作者コメント】

※氾濫 33 落選作です

【担当者コメント】

これが落選作……氾濫作恐るべし

正解者 1 名の超難問でした。飛打飛合・角打角合からの交換して即取る、これを銀打ちを挟んで行うのが狙いの作品です。銀を龍でピンする手順が見えにくかったようで難解な作品になったようです

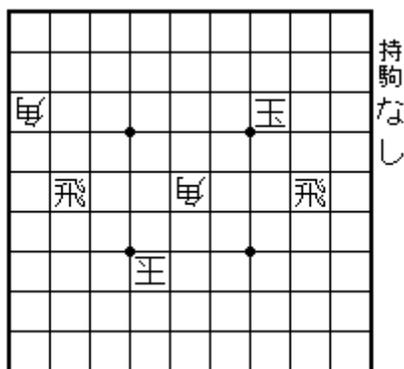
【短評】

神無七郎氏：

鏡に映ったもう一人の自分に食われた飛車と角。銀打を挟んだ 2 幕のホラー

【第参番】北村太路氏作

安騎協力千日手 8 手 (C-)



【作意】

37 王 76 玉 77 王 43 玉 73 王 34 玉 33 王  
67 玉 迄 8 手

【作者コメント】

FMでの検討方法がわからなかったので、コンピュータチェックは通ってないです。余詰防ぎがうまくいきませんでした

【担当者コメント】

まずは駒の利きがどうなっているかを把握する所からになります。安騎というルールはチェスのナイトの利きにある駒の影響を受けると言う物です。なので、25飛=玉、33玉=飛、55角=玉、67玉=角、85飛=角、93角=飛という塩梅になります。仮に、21に銀があれば33玉は、飛+銀の動きが出来るという事になります。そし

て、狙いは作意を見れば明白で33玉が飛車の利きを利用して一回転、67玉が角の利きを利用して一回転！！という物です。動いている間に駒の利きが飛角になっているので王手が掛かっているように見えて掛かってない3、7手目の手順などは面白いと思います

ルールを最大限利用した傑作だと思います

【短評】

神無七郎氏：

角に化けた受方玉と飛に化けた攻方王。意外と相性の良いコンビがぐるりと一回転。安騎という難しそうなルールに、こんなに楽しい手順が隠れていたとは...逆王手回避で玉をピンする手順は他の変身ルールでも応用が利きそうですね

たくぼん氏：

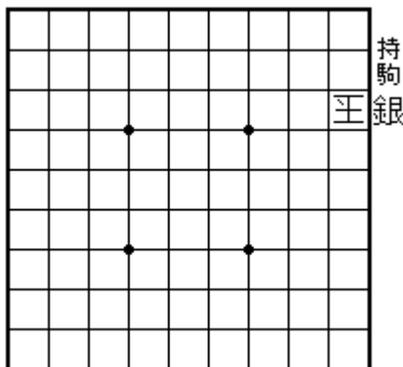
見事に一回転。これはお見事

雲海氏：

ルールがいまいち理解できませんでした。こういうのは例を示していただけるとありがたいです

【第四番】たくぼん氏作

対面キルケ協力詰 7 手



【作意】

24 銀 23 歩 同銀成 14 玉 15 歩  
同玉 /17 歩 16 歩 迄 7 手

【作者コメント】

対駒として弱い歩が出るところが面白いのか？

【担当者コメント】

対面+キルケだと歩一枚で詰む所が怖いです。対駒として歩を使用することが分かれば直ぐだと思います

【短評】

雲海氏：

対面キルケだと歩1枚だけで詰ませられるの  
ですね。なんて恐ろしい

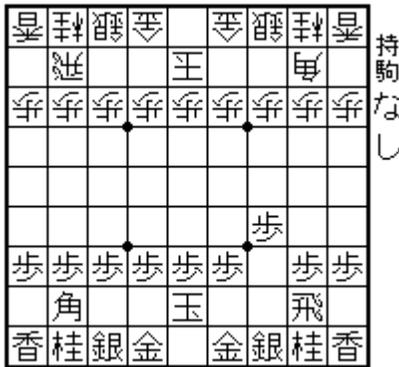
神無七郎氏：

5手目が打歩で終わるか突歩で終わるかを決  
める運命の選択。対面では桂、香が主役にな  
ることが多いですが、歩も主役になれるんで  
すねえ

隅の老人B氏：

初手は銀打しかないのだが、それでも三択、  
次の手は？で苦労です

【第伍番】 たくぼん氏作  
安南協力自玉詰 14手



【作意】

43 歩成 同玉 87 歩 44 玉 37 桂 35 玉  
45 桂 同玉 48 飛 36 玉 37 歩 45 玉 47 玉  
46 桂 迄 14 手

【作者コメント】

不要駒多数ですが実戦型からの探索ということ  
でお許し下さい

【担当者コメント】

協力自玉詰で全部駒が使用されているので上に  
引っ張り出すしかないのが最初の4手迄は固定  
だと思います。44玉の局面で37桂の一手。此処  
までは一本道なのですが此処からの手順は両方  
に駒が無い事及び歩対による詰みがない事を考  
慮して歩以外の駒を後手が入手する事を考えて  
いく事になります。後は玉を引っ張り出すには  
…と順次考えていけば本手順に至れると思いま  
す。通してみると安南らしい手が一杯入った好  
作になっています

【短評】

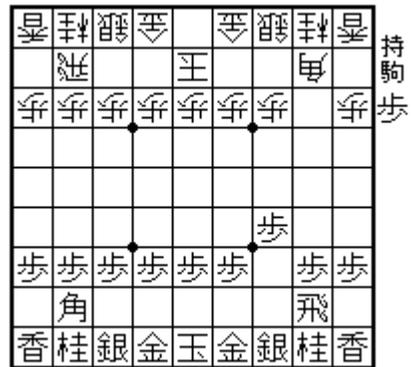
雲海氏：

個人的には妙に難しかったです。45桂、  
37歩あたりが見え難かったせいかな。とこ  
ろで安南ルールの実戦初形からなら2筋と8  
筋の歩を突き合った形からを希望します  
(笑)。あ、その形からちょっといじって  
fmを動かしてみたら完全作があったのでお  
送りしますね

神無七郎氏：

59玉の図で散々考えたので、正図での解答  
は楽でした。でも、フェアリーランドと違い  
利き二歩有効であることを謳わないと、不詰  
と勘違いする人も出るかもしれないですね。  
ちなみに、59玉の図で読んだ紛れで面白い  
筋があったので、それを作意にした図を作っ  
てみました

【参考図】 (※利き二歩有効)



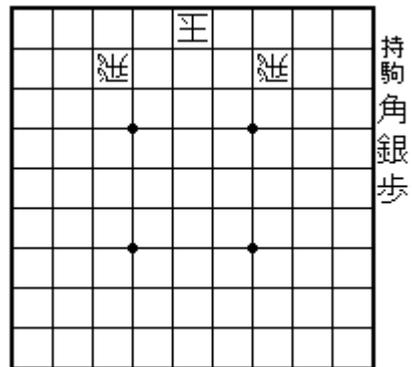
「何で23歩が先手の持駒になってるんだ！」  
というツッコミが来そうですが、細かいことは  
気にせず解いてください

隅の老人B氏：初手から最終手まで安南の妙手  
続出。これは傑作。

【課題作品展】

【第壹番】 シン氏作

アンチキルケ協力詰 5手



【作意】

52 歩 同飛左 /82 飛 62 角 61 玉 52 銀  
迄 5 手

【作者コメント】

前回の非対称の課題作が予想以上に好評で、つい調子にのってまたチョイと作ってしまいました。とりあえずアンチキルケでもできるよ、ということだけを伝えただけと言われるのも仕方なし

【担当者コメント】

左右非対称で初手をどっちが取るか。ルール上、どっちで取っても 82 に飛車は復活するのですが 32 飛の利きが残っているのは詰まないという仕掛け

【短評】

雲海氏：

左右対称形だけれど手順は非対称。このルールの特性が出ていますねえ

神無七郎氏：

52 は飛と飛の焦点。同種の駒の焦点への捨駒というのは、フェアリーでも例が少ないのでは？

隅の老人 B 氏：

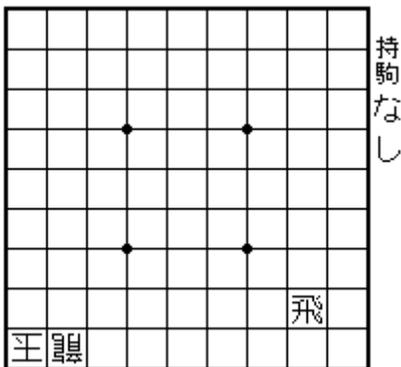
初手をどちらの飛で取るか？アンチキルケらしい作品でした、当たり前か

たくぼん氏：

さすがに簡単ですが、昔を思い出しました。懐かしい味です

【第貳番】 シン氏作

キルケ協力詰 7 手



【作意】

98 飛 同龍 /28 飛 29 飛 89 龍 同飛 /82 飛

同飛生 /28 飛 98 飛 迄 7 手詰

【作者コメント】

キルケ独特の手筋「生かせ」です。玉方 8 9 龍をそのまま 8 9 飛とする、ささやかなマジック。意外とサッパリとまとまったので投稿しました。サッパリしすぎて類作がこわい最近小ぢんまりしすぎだなあ…

【担当者コメント】

89 龍→ 89 飛になったら 1 手詰  
非常に分かりやすい生駒変換。良作です  
実は、5 手目からの局面は似たような作品があります。最初の出典は実は自作のはずなんですけどね……

先手 64 飛 後手 19 玉

でこれを左右反転した図が本図 5 手目以降局面

【短評】

雲海氏：

以前フェアリーランドで出題された金子氏作から更にひとひねりですね。龍のミニスイッチバックが好印象

神無七郎氏：

キルケが成駒を生駒に直接変換できるレアなルールであることを端的に示した作品。「左右非対称」という課題との結びつきは弱いですが、「生駒化」テーマの作品として見れば、最高の作例だと思います

隅の老人 B 氏：

89 龍が飛なら 1 手詰。ここが面白い処ですね  
たくぼん氏：

初形との対比が見事です。完成品

【総評】

神無七郎氏：

第伍番の誤植がちょっと残念でしたが、今回は小粋な作品が揃っていてとても楽しめました。北村氏の復活も嬉しいですね

フェアリー版ギネスに挑戦！

～持駒最多のばか詰解答発表～

WFP29号で解答募集しました「ギネスに挑戦！持駒最多のばか詰」計7題。解答者は4名。全題正解者は、神無七郎さん、隅の老人Bさんの2名でした。解答書き大変な中ありがとうございました。

持駒最多のばか詰に挑戦していただいたのは小林看空、神無七郎、北村太路、たくぼんの4名で、最多は小林氏の23枚となりました。内容的には歩をたくさん使うのはもちろんですが、そのプラスαをどうするかというのが勝負どころです。ほとんどの作品が桂や金銀を用いて道を開拓して歩を連打するという流れで、似たような感じとなりましたが、それぞれ個性が出てなかなか面白い展示会？になったと思います。

持駒最多ギネス記録作

No.1 持駒23枚

小林看空作 ばか詰 53手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
銀	玉	金							一
									二
金		王				飛	歩		三
銀	飛				歩				四
角								歩	五
金									六
				銀					七
			歩			香			八
									九

持駒 角銀桂4歩17

63 角 92 玉 81 銀 同飛 84 桂 同金  
 93 歩 同玉 85 桂 同銀 94 歩 同玉  
 86 桂 同角 95 歩 同玉 87 桂 同金  
 96 歩 同玉 97 歩 同玉 98 歩 88 玉  
 89 歩 77 玉 78 歩 66 玉 67 歩 55 玉  
 56 歩 46 玉 47 歩 同玉 48 歩 38 玉  
 39 歩 37 玉 38 歩 26 玉 27 歩 15 玉  
 16 歩 同玉 17 歩 同玉 18 歩 同玉  
 26 歩 36 飛 同角成 17 玉 18 飛  
 まで 53手

作者

そろそろ限界に近付いてきたな、と思いつつ。。なかなか23枚を超えられません。どうも違うアイデアが必要のようです。

まだ一駒余っていますので、どうにかかなりそうですが、また、どうにかありません。

★ 持駒4種で23枚とは素晴らしい記録です。序の角銀桂を上手く使わせているところがうまい工夫でした。歩と桂は消費しやすい駒ですがそれからのプラスαが技術の見せ所と言えるでしょう。初手打った角が最後収束に利いてくる構成は見事です。

橋本孝治

玉を1段目に追わず下段に戻す収束が上手い。単なるピン止め役かと思われた33飛を効率的に使っています。1枚香が余っているので、更なる記録更新も期待できます。

隅の老人B

最後に26歩で角が再登場、ここら辺りが味噌かな。

飯山修

短評なし

雲海

最初に打った角がその後の玉の軌跡限定や収束に働く所が非常に巧いです。香が1枚余りましたが、まだこれ以上持駒の数を増やせる可能性がある！？

No.2 持駒22枚

たくぼん作 ばか詰 61手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							角	角	一
				飛			王	二	
			歩	銀		王	金	三	
			歩				銀	四	
							金	五	
					歩		金	六	
								七	
			飛	香			歩	八	
					銀			九	

持駒 金桂4歩17

22 金 同飛 24 桂 同金 13 歩 同玉  
 25 桂 同銀 14 歩 同玉 26 桂 同金上  
 15 歩 同玉 27 桂 同金左 16 歩 同玉  
 17 歩 同玉 18 歩 同玉 19 歩 29 玉  
 38 銀 同玉 39 歩 47 玉 48 歩 56 玉  
 57 歩 55 玉 56 歩 64 玉 65 歩 同玉  
 66 歩 同玉 67 歩 同玉 68 歩 78 玉  
 79 歩 77 玉 78 歩 76 玉 77 歩 75 玉  
 76 歩 74 玉 75 歩 73 玉 74 歩 82 玉  
 83 歩 72 玉 73 歩成 71 玉 72 歩 81 玉  
 82 と まで 61 手

**橋本孝治**

惜しくも最大枚数記録を逃しましたね。2枚の飛車が収束手順の限定と、歩の消費に役立っているのが巧い。

**隅の老人B**

序盤の趣向は1番で学習済み。最後に88飛を見落とすところ。故郷離れて、こんな遠くへ来たものだ。

**飯山修**

短評なし

**雲海**

6番と似ている所がありますねえ。出題者特権だったりして・・・ところで23銀が不要駒っぽいのですがどうでしょう？

★ 考えることは結構同じなんですネ。

**No.3 持駒21枚**

神無七郎作 ばか詰 81手

											9	8	7	6	5	4	3	2	1		
																					一
																					二
																					三
																					四
															銀	銀					五
														進	歩	香	香	桂	皇	玉	六
															王	馬	玉				七
																玉	玉			馬	八
																					九

持駒 飛桂3歩17

77 飛 58 玉 78 飛 57 玉 69 桂 同角生

77 飛 58 玉 78 飛 47 玉 39 桂 同金右  
 77 飛 48 玉 78 飛 58 銀生 49 歩 47 玉  
 77 飛 67 銀生 48 歩 同玉 49 歩 同金上  
 78 飛 47 玉 48 歩 38 玉 47 歩 27 玉  
 28 歩 同金 19 桂 同金 28 歩 37 玉  
 38 歩 28 玉 29 歩 同金右 37 歩 同玉  
 38 歩 47 玉 48 歩 38 玉 39 歩 同金右  
 47 歩 同玉 48 歩 57 玉 58 歩 同銀生  
 77 飛 48 玉 49 歩 同銀生 78 飛 37 玉  
 38 歩 同銀生 77 飛 48 玉 78 飛 58 全  
 49 歩 47 玉 77 飛 57 全 48 歩 58 玉  
 59 歩 48 玉 78 飛 58 全 49 歩 57 玉  
 58 歩 47 玉 48 銀 まで 81 手

**作者**

例示されていた森氏の作品は玉を遠ざける趣向だったので1サイクルで消費する歩の数が2枚でしたが、逆に玉を近付ける趣向にすると消費する歩の数を3枚にできます。その素材で普通に仕上げると、ただの軽趣向になったと思いますが、課題に合わせていくうちパズルの要素の入った作品になりました。

できれば後1枚くらい詰め込みたかったところですが、枰を作るための駒がなくなってしまいますね。

**隅の老人B**

簡単に指せたのは、初手だけ。それから先が長かった。得意の闇雲流、あっちに行ったり、こっちに来たり。幾たび、諦めかけたことや。成銀が取れて、万歳三唱、これで今年も暮れてゆく。

**雲海**

他の作に解図時間を充ててしまい、解く時間がありませんでした。図を見て26香の壁が壊されないのかなと思うのですが・・・

★ 作者が作者だけにただの記録挑戦作という作品ではなく1つの素晴らしい難解作品となっている。作者も言われていますがこれまでの記録作である森作を発展させた形で纏めてあります。なかなか展開が読めない(先が読めない)場面が続きますので解くのはかなり難しいと感じます。作者以外の正解者が隅の老人Bさん1名というのがそれを物語っています。私はすぐに答えを並べてしまいちょっと勿体無いことをしたなど今後悔しています。

**No.4 持駒 2 1 枚**

小林看空作 ばか詰 55 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					角				一
									二
							飛		三
						歩		王	四
	香	銀	銀						五
	香	金	銀						六
	桂	歩					香		七
	飛							銀	八
王	ス	角						香	九

持駒 金3桂3歩15

98 金 同玉 99 歩 同と 89 金 同桂成  
 97 金 同玉 98 歩 96 玉 97 歩 95 玉  
 96 歩 94 玉 95 歩 84 玉 96 桂 74 玉  
 66 桂 同銀右 75 歩 同玉 67 桂 同金  
 76 歩 同玉 77 歩 同玉 78 歩 68 玉  
 69 歩 57 玉 58 歩 46 玉 47 歩 45 玉  
 46 歩 34 玉 35 歩 同玉 36 歩 同玉  
 37 歩 同玉 38 歩 28 玉 29 歩 17 玉  
 18 香 同玉 19 歩 17 玉 18 歩 16 玉  
 17 銀 まで 55 手

**作者**

よろしくお願ひします。現時点です。もう  
 少しでもかできそうですが。。 25 枚位が  
 デッドライン??!! うむ。

★ 本作は持駒 21 枚。9筋4段目まで下げて  
 7筋を上がってくるというちょっと変わったル  
 ートを辿る。桂歩以外の金3枚は序奏で捌いて  
 いる。記録作より早く投稿されてきた作品。

**橋本孝治**

No.1 は桂で縦に道を空けるタイプでしたが、  
 こちらでは一瞬だけ横に道を空ける手順が出て  
 きます。記録にこだわらず趣向手順の変奏を考  
 えるなら、こういう方向性もありますね。

**隅の老人 B**

出だしは気前よくお金を使う、中盤は桂、未  
 だ歩がたくさん残っているな。さて、もう一捻  
 り、歩を捨てよう。

**飯山修**

短評なし

**雲海**

序の金捨てや 96 桂が巧いです。収束もこれ  
 で限定できるとは。

**NO.5 持駒 2 1 枚**

北村太路作 ばか詰 57 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
								王	一	
								歩	二	
		銀							三	
		歩	飛		飛				四	
				桂					五	
							角	香	桂	六
							香	香	桂	七
		香					角	歩		八
							ス	ス	王	九

持駒 金4銀3桂歩13

18 金 同玉 19 歩 同と 29 銀 同歩成  
 28 金 同と 29 銀 同桂成 17 金 同玉  
 18 歩 同と寄 28 銀 同桂成 16 金 同玉  
 17 歩 15 玉 16 歩 25 玉 17 桂 34 玉  
 35 歩 45 玉 46 歩 56 玉 57 歩 65 玉  
 66 歩 74 玉 75 歩 同玉 76 歩 同玉  
 77 歩 同玉 78 歩 88 玉 89 歩 87 玉  
 88 歩 86 玉 87 歩 85 玉 86 歩 84 玉  
 85 歩 83 玉 84 歩 92 玉 93 歩 82 玉  
 83 歩成 91 玉 92 歩成 まで 57 手

**作者**

だんだんきつくなってきた気がします。

★ 他の方の作品では金銀の持駒は3枚が一番  
 多い。なのに本作は金銀7枚と他とは違う一面  
 を見せてくれる。金と銀の違いを巧みに利用し  
 て上手く密集から誘い出しています。ここに桂  
 が必要な為、ここから進展させるのは難しい  
 か・・・

**橋本孝治**

もし単玉で記録を狙うならこの素材を元にす  
 るのが良いかもしれません。序の「歩成らせ」

が味が良いので、歩よりも金銀がたくさん欲しくなります。

**隅の老人B**

箱入り娘を連れ出すのは難儀。でも、連れ出した後は簡単。

**飯山修**

短評なし

**雲海**

密室型にして上手に金銀を消費していますね。最終手が非限定？と一瞬迷ったのは私だけではないはず。

**NO.6 持駒20枚**

北村太路作 ばか詰 73手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
金		飛					銀	銀	一
							香	玉	二
			王				香		三
	歩						香	銀	四
		歩						香	五
								香	六
					銀	銀		香	七
	香								八
					銀				九

持駒 桂4歩16

- 13歩 同玉 25桂 同銀 14歩 同玉
- 26桂 同金上 15歩 同玉 27桂 同金左上
- 16歩 同玉 28桂 同金左 17歩 同玉
- 18歩 同玉 19歩 29玉 38銀 同玉
- 39歩 48玉 49歩 57玉 58歩 66玉
- 67歩 75玉 76歩 同玉 77歩 同玉
- 78歩 88玉 89歩 87玉 88歩 86玉
- 87歩 95玉 96歩 94玉 95歩 93玉
- 94歩 92玉 93歩生 82玉 92歩成 83玉
- 82と 93玉 83と 94玉 84と 95玉
- 94と 96玉 97歩 85玉 84と 75玉
- 74と 85玉 86歩 94玉 84と 95玉
- 85と まで 73手

**作者**

どう考えても歩18+何か一種4枚くらいは最低でもいけると思うんですが、才能がない。。。まあ、賑やかしにでもなればいと思います。太郎さんの南十字星ちょっとさわって

も、上の18+4くらいはいけそうに見えますが。歩以外に2種類持たせた人がいたら、ちょっとすごいと思います。・・・なんか出来そうな気はしますが、もうちょっと思いつきません。

★ No.2 の私の作品と序盤はほとんど変わりません。私の作品は皆さんの投稿作が届く前に既に創っていたものでしたので、ほとんど同じ序にびっくりしたのですが、最初に考える筋は皆同じなのかな~と思った次第。持駒数は

No.2 が多かったですが収束の上手さは北村作がはるかに上ですね。この収束に苦労された方が多かったようです。

**橋本孝治**

今までの作はとりあえず駒を打っていけば大体詰んでいたのですが、この作の収束には悩まされました。89でもなく86でもなく、中途半端に思える87に歩を突き出すとは…「歩の限定打」とでも呼びたい（本当は「打」ではありませんが）構想です。

**隅の老人B**

馴れるということは、恐ろしい。またかの感想、ごめん、ごめん。でも、収束、と金で折り返す手順は面白いですよ。

**飯山修**

短評なし

**雲海**

前半はスイスイ、が8筋から悩ましかったです。

**No.7 持駒18枚**

小林看空作 ばか詰 49手

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
銀	金						銀	銀	銀	一
王	香						飛	金		二
	香							科		三
						香				四
				王			科			五
	香	香		香			科			六
	香						飛			七
										八
桂									銀	九

持駒 歩18

93 歩 同玉 94 歩 同玉 95 歩 同玉  
96 歩 同玉 97 歩 同玉 98 歩 88 玉  
89 歩 78 玉 79 歩 68 玉 69 歩 58 玉  
59 歩 48 玉 49 歩 37 玉 38 歩 27 玉  
28 歩 16 玉 17 歩 15 玉 16 歩 14 玉  
13 金 同玉 12 銀成 14 玉 15 歩 同玉  
16 歩 同玉 17 歩 同玉 18 歩 28 玉  
29 歩 27 玉 28 歩 36 玉 37 歩 35 玉  
27 桂 まで 49 手

## 作者

月並みですが、歩 18 枚もできてしまったので示しておきます。

★これまでの作品を見ても分かるように持駒歩 18 枚というのは創るのが意外と難しい。今回別枠で看空さんが送って下さったのが本作。歩をシンプルに連打し 9 筋から 1 筋に移動し、1 筋で一往復するのが実に上手い手順。大駒をピンして余詰を上手く抑えてある。さすがです。

## 橋本孝治

これは従来の記録にも届きませんが、No. 7 → No. 4 → No. 1 と持駒数の逆順に並べると、素材から完成までの流れが感じられて面白いですね。1 筋から反転して 3 筋に戻る収束が面白いので、記録とは関係なくこの方向で発展させた作品も見たいところです。

## 隅の老人 B

解くのは簡単だが、創るのは大変？それでも無いって、ホントかな。

## 飯山修

短評なし

## 雲海

歩が 18 枚あるのは今回の作品展ではこれだけなのですね。後で玉の軌跡を限定させるために歩を使用するから意外と難しい条件なのかな。ところで 99 桂や 31 銀は無くてもよさそうですが・・・ 31 銀の代わりに 25 桂を無くしてもよさそう？

## 【総評】

## 橋本孝治

作る方はともかく解くのは楽勝と思っていたこの作品展ですが、No. 6 で思わぬ苦戦をしてしまいました。  
今回の作品展では

・桂で歩の打場所を作る

という手法が記録の達成に大きな役割を果たしましたが、最大記録に至らずとも、それぞれの工夫が楽しめました。「記録」が創作のきっかけ作りに役立った作品展だったと思います。

## 隅の老人 B

解くのが難しかったのは 3 番だけ。でも、解答書きは、総て長手順で苦勞しました。年の暮れで、まあ普通の人は忙しい。長手順の作品の解答は、いつもより、たぶん少人数。これでは、担当のたくぼんさんが寂しがる。こんな時こそ、暇な老人 B の出番と頑張った。これで今年も終わりです、ハイ、来年も宜しくね。

## 飯山修

3 番のみ全くわからないままでいたら締め切り日になってしまったのでそれ以外のものを解答します。どれも導入部は似通っているので判りやすくて助かりました。

---

次回のギネスに挑戦！もお楽しみに！

新しい条件も募集します。どうぞよろしく。

# 詰将棋メモ

## 推理将棋第 39 回出題解答

担当 タラパパ

出題日 : 2010年11月 4 日

解答締切 : 2010年11月20日

推理将棋第 39 回解説 担当 タラパパ

### 39 - 1 初級 赤い影法師さん作 32に駒打ち 9手

「あの将棋、たった9手で詰んじゃったね」  
「途中で発止と、32に駒を打ったあたりがヤマ場かな」  
「一度だけだったけど、不成なんて手があったのには驚いたよ」  
「終わってみれば、後手の41玉が負けを早めたのかな」

(条件)

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 途中で(最終手ではない)32に駒を打つ手があった
- ・ 一度だけ不成があった
- ・ 後手は41玉と指した

### 出題のことば (担当 タラパパ)

どちらが何手目に何を32に打ったのか、よぉ〜くお考えください。

追加ヒント:

止めは駒を打つ手です。  
32に駒を打ったのは後手です。

推理将棋第 39 回解説 担当 タラパパ

感想を拝見すると、初級・上級は予想を上回る難問でした。

いつもより難問だとは思っていたのですが、ベテラン勢まで悩ませるとは。

解答状況を横目で眺めながら、大汗をかくことになりました。

中級・上級はいずれも新手順。このところ少し難問続きの傾向があり、解き易い問題を求めていますので、皆様よろしくお願ひします。

### 推理将棋 39 - 1 解答

▲7六歩、▽4二金、▲3三角成、▽4一玉、▲4三馬、▽9九角不成、▲6一馬、▽3二香、▲5一金 まで9手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	駒	馬	金	王	駒	科	皇	
二		飛				王	皇			
三	歩	歩	歩	歩	歩			歩	歩	
四										
五										
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八								飛		
九	皇	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 歩

ポイントは「途中32駒打」と「後手41玉」。これが5手目だとすれば、76歩、34歩、22角成、52金左、32角までがほぼ必然。後手が41玉と寄るには、32角が21又は43方向に動いた後の8手目となりますが、41に動いた玉が再び51玉に戻る手を塞げません。

では7手目だとしましょう。76歩、52金左、33角不成、41玉、32角、42玉と進めても、22の馬と32角は一手で連携ができずにダメ。97角ルートや22角不成ルートで金や銀を取って32に打つのも、41に利いてしまうのが大きなネックで、41玉と寄れずどうにもなりません。

「先手途中32駒打」と「後手41玉」が両立し、9手で詰む手順に、「76歩、42飛、33角不成、

52金左、42角不成、41玉、32飛・・・」以下がありますが、どうしても不成が2回必要になります。結論として、先手が7手目までに32駒打ちとする手順はないことが、比較的容易に推測できるのです。論理に自信を持って、先手からの駒打ちを捨てる勇気が持てるかどうかは鍵。

先ごろまで連載されていた、ミニベロさんによる「覚えておきたい推理将棋の基礎知識 5」で、ミスディレクションがテーマになっていました。本作も新人作家にあるまじき？悪戯が仕掛けてあります。”発止と駒を打った””ヤマ場”といった勢いのある言葉で、32駒打ちを先手の着手だと思わせてやろう・・・これがミスディレクションです。

駒打が後手の着手だと気付けば、その瞬間にあっさり解けてしまいます。後手は少なくとも左金を動かし、41玉と寄らなければなりません。34歩と突いて角を取り合えば2手かかりますから32駒打ちは指せません。打てる駒は、34歩を突かずに一手で取れる香だけです。そのために先手は33角成から、馬をどいてあげる。条件の一つ”不成”は後手が香を取る時に消化します。

追加ヒント「止めは駒を打つ手です」も、かなりの大ヒントなのですが・・・。

橘圭伍 「この形ももう手筋みたいなものなんですね・・・。昔、香車を1手で取れて打てる事に気付いた時は感動しましたが」

■まだまだ”使える”手筋。9手でその香を18に打たせた悪い人もいましたし(笑)

DD++ 「不成2回 or3回なら簡単なのに、1回とな！と軽く1泊。翌日、解図と関係なく、ある推理将棋関係の原稿の最終チェックをしていたらまさしくこの問題の手がかりがそこに書いてあり、思わぬタイミングで解けました。その原稿を書いてなかったら迷宮入りしていたかも・・・。これ絶対中級以上ですって。」

■9手で、論理的に解けるので初級の範囲かな？と(汗)

リーグ戦ファン 「鮮やかなミスディレクション。初級には難問では。しかし、ミスディレク

ションを大好きすぎて、まず『32に打ったのが後手だといいなあワクワク』と考えて、まず本線より先にトライすることの多い私。ありゃ、解けてしまいました。自分で自分の喜びを減らしている・・・。」

■や、やはり初級には苦しいですか(汗)条件に”41玉”がなければ中級にしたのですが。

斧間徳子 「”不成あり”という条件が、33角成～43馬を考えにくくしている。」

■なるほど。作者の計算なのかもしれませんね。

香箱 「43馬に少考。角は不成から考える癖が。」

■推理将棋では、そのほうがヒット率は上がりそう。

NAO 「8手目と9手目は見えにくい指しにくい。」

■8手目はともかく、9手目もですかあ？

たくぼん 「今回一番時間が掛かったのがこれ。不成が一度と32駒打ちを先手と思い込んでしまいました。良く考えれば分かりそうなものを」

■簡単に捨てられないのが”思い込み”。それを利用するなんて、ヒドい作者です。

S. Kimura 「不成は先手がするとばかり考えたので、だいぶ悩みました。」

■作戦成功みたいです。

渡辺 「”不成が1度だけ”が私好みの巧い条件ですね。」

■渡辺さんに褒められると、新人さん、励みになりますね。

ミニベロ 「ウーム、ヒントが出るのを心待ちにしてしまった！」

■ミ、ミニベロさんが・・・マジですか？

(大汗)

**竹野龍騎** 「第一感は82飛で37歩を取って32歩でしたが、はずれ。99角は何度見ても感触の良い手です。『後手の41玉が負けを早めた』のが正しいことに驚いた(苦笑)。」

■推理将棋の感想ほどアテにならないものはない。「3手目の駒成で有利を確信」といって33角成でも、単なる以上感覚でノープロブレム。私はしません(笑)

**はなさかしろう** 「43馬が盲点になりがちなのは私だけ?(苦笑)一度だけの不成といえばんなんといっても99角不成でしょう、というわけで解き心地の良い条件付け、ごちそうさまでした。」

■どういたしまして。ささ、お茶でも一杯。

**鈴木康夫** 「32に打ったのは後手と言うヒントで当初は混乱しました。2手目34歩の暇が無いということで、やっと解けました。」

■今後も現れそうな手筋ですから、覚えておいて損はありません。

**占魚亭** 「これでいいのかなあ……自信ありません。」

■残念! 32駒打ち条件を満たしていませんでした。

**まさ** 「32へ駒を打つと聞いてまず後手だろうと推理(笑)」

■推理将棋作家から嫌われる解答者のタイプですよ、まささん(爆)担当者からは好かれますけど。

**はてるま** 「32の穴塞ぎは飛車でもできることをあえて香を取って打つのが推理将棋。新人さんなのに、むしろベテランの味ですね。」

■最近の新人さんは、かわいくないですよ。

**宮谷保可楽** 「どうやって32を埋めようか、と悩んでいたら、幸運なことに香が落ちていた。」

■目の前に落ちていても、なかなか拾えないものなのですが。

正解: 17名

S. Kimuraさん 斧間徳子さん 香箱さん  
鈴木康夫さん たくぼんさん 竹野龍騎さん  
橘圭伍さん 躑躅さん DD++さん  
NAOさん はてるまさん  
はなさかしろうさん まささん ミニベロさん  
宮谷保可楽さん リーグ戦ファンさん  
渡辺さん

### 39-2 中級 DD++さん作 金付き居玉の詰ませ方 10手

「この前金付き居玉のままだった10手で詰まされちゃった」

「両王手をかけられたのかな?」

「いや、トドメは駒打ちだったよ」

「じゃあ吊るし桂までか」

「いや、打たれたのは桂じゃない」

「え、本当に金付き居玉だったの?」

「うん、玉も金も最後まで初形のままだったよ」

「両王手でも吊るし桂でもない金付き居玉の詰ませ方ねえ……」

「あ、そうそう、普通の将棋だったから不成の手はなかったよ」

(条件)

- ・ 10手で詰んだ
- ・ 玉と金は最後まで初形のまま
- ・ トドメは桂以外の駒打ち
- ・ 不成なし

### 出題のことば (担当 タラパパ)

玉の両隣に金が二枚居ます。打った駒が桂馬でない詰み形とは?

追加ヒント:

止めは先手の金頭に駒を打つ手です。

「玉も金も初形のまま」は後手にも適用されます。急所は58の逃げ道塞ぎ

推理将棋 39 - 2 解答 担当タラパパ

▲7六歩、▽3二飛、▲3三角成、▽4二銀、  
▲2二馬、▽3七飛成、▲6八飛、▽3九龍、  
▲5八角、▽4八銀 まで10手。

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	爵	王	王	爵		科	皇	一
							馬		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
									四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩		歩	歩	七
			飛	角	爵				八
香	桂	銀	金	王	金	龍	桂	香	九

持駒 歩

ことあるごとに言っていた居玉を詰める3つの手段が、(1)金に働く(取ったり動いて貰う)  
(2)両王手(3)桂吊るし。これに異を唱えてDD+さんが投稿してきたのが、たった10手で実現する第4の手段です。

さて、上記3手段を使わずに、居玉の両脇に金が居る形で詰めることができるとすれば、角香による合利かずか、詰方の龍又は飛によって金が動きを封じられた状態で、金頭か玉頭に駒を打つ手段しかないはず。本問に関しては詰上がり形を予測することが解決の近道です。10手で作れそうな形はほぼ一つしかありません。後手の龍を39に置き、金頭に48角か48銀で詰める形。

そして後手の龍を39に置ける最速が8手ですから、それに準じた手順を進めます。この詰上がりには58を塞ぐ必要がありますが、後手にその手段を講じる余裕はなく、そこは先手がアシストしなければなりません。横利きのない駒を取って58に打つのです。

これらを纏めると「76歩、32飛、33角成、王手を防ぐ手、22馬、37飛成、68を埋める手か58角、39龍、68を埋める手か58角、48銀」までが決まります。

68を埋める手は何でしょう？28飛が居座ると止めの48銀を取れるため、飛車でなければならず、58角を打つ前の7手目に決まります。

ここにきて解答者は、4手目が限定しないことに気付きます。王手を防ぐ手段が複数あるからです。52玉、62玉、42金、42銀の4手段。非限定の不完全作？疑問を覚えながらも一度出題文を読むと、「」。なんということ、先手だけの条件だと思っていた条件が後手にも生きて、42銀が限定しているではありませんか！

作者 「この例外が1度出題された以上また使われることはないと思うので、対居玉3種の手筋は今後もみなさん安心して使ってくださいね。『玉も金も最後まで初形のままだったよ。(先手だけじゃなく後手側も。)] という4手目限定条件の隠し方は今でもお気に入りです。」

■たしかに再利用のしにくい手順。

リーグ戦ファン 「本作品の白眉は、極めて上質な叙述トリック。▲33角の王手に合駒する筋は非限定=ありえない、と思わせておいて、解いてみて初めて浮かび上がる条件表現の素晴らしさですね。理詰め詰め筋とあわせて、私の中では推理将棋史上5本の指には確実に入る作品です。」

■解いてみて浮かび上がる条件。滅多に味わえない解後感です。

斧間徳子 「序の5手は、ありそうであまり見たことのない手順。「玉と金は不動」という条件で後手まで制約しているのがにくい。」

■私もこの5手に完全一致する作品は、見た記憶がありません。極めて珍しい筋でした。

香箱 「詰上がりに限られるのですぐ見えた。」

■そこが本作の良さの一つだと思います。

**NAO** 「さりげなく4手目を限定させているのが巧み。」

■実は作者の一番の自慢でした。

**たくぼん** 「後手玉と金も不動ということで42銀限定になるのを作者も喜んでいそうだ」

■これに気付いた作者はきっと、快哉を叫んだことでしょう。

**S. Kimura** 「はてるま手筋から銀打ちが見えたので、今回の問題では一番早く解けました。」

■見えてしまうと、どんなに難問であっても一瞬ということがある、推理将棋の特徴でしょうか。

**渡辺** 「タラパパさんの盲点を突いたのかも知れませんが、運良く「金に働く」という言い方をしているので、これも金をピンしているという意味では正しいですね。」

■いやあ、「金に働く」は、「取る」「金が動く」の意味で使いましたから、きっちり一本取られたことを認めます。

**ミニベロ** 「既成順の延長のようだが、実は各部にオートマチック限定が利いていて、推理将棋として秀逸な作品だと思う。」

■42銀以外にもう一つ、68飛の自動限定が美味しい味でした。

**はなさかしろう** 「手数ぴったりはいつもながら水際立っていますが、まあ収束はこうなるものかと。本作はなんといっても前半。どうとでもなりそうに見えて実は42銀が限定の一手。思わず含み笑いが湧いてくる感じ、まったくもって嫌いではありません(笑)」

■作者のほうは、含み笑いなのか、それとも高笑いなのか？

**鈴木康夫** 「一度解いたはずなのに、なかなか思い出せませんでした。」

■私にも同じ問題でまた、数日悩んだ経験があります(笑)

**まさ** 「条件から金をピンした形しかない。『玉金は最後まで初形のまま』が巧みな条件で感心。」

■ふふふ。

**はてるま** 「金付き居玉という条件が「42銀」限定に働くのが隠れたうまみ。58角はまさにぴったり。前問と似た味わいがありますね。」

■収束が絶対なので、この隠し味には解いてから気づくんですね。「非限定があるけど・・・あっ、限定だったんだ！」

**宮谷保可楽** 「39龍で銀を入手すれば、48銀と打てる。あとは必要な駒を揃えればよい。それにしても初めてではなかろうか。このコーナーで秒殺したのは…。」

■まさか、この問題が秒殺されるとは！

**橋圭伍** 「どうも解けても釈然としないのは確実に「玉金が初形のまま」という条件が先手側にしか適用されないように見える文章構成になっているからではないかと思います。ぱっと読むとこの条件が後手にも適用されているとは思えないのはやや問題でしょうか」

■誤誘導を図ろうとするミスディレクション系特有の微妙な表現ではあります。私なりの基準は、解けた答を問題文を照らし合わせて、はっきり”合致”と認識できればノープロブレム。照らし合わせても”合致しない？”と感ずるならNGだと思っています。

**躑躅** 「後手の金と玉も動かないのかどうか問題文・条件から判断できなかったので4手目に迷いましたが、追加ヒントで動かないと明記されているので多分これでいいと思います。」

■はい、正解です。「先手に関しては、玉と金は最後まで初形のまま」と言っていない以上、条件は全体に適用されます。

正解：16名

S. Kimuraさん 斧間徳子さん 香箱さん  
鈴木康夫さん たくぼんさん 橘圭伍さん  
躑躅さん DD++さん NAOさん  
はてるまさん はなさかしろうさん まささん  
ミニベロさん 宮谷保可楽さん  
リーグ戦ファンさん 渡辺さん

**39-3 上級 小春日和さん作**  
**暴れ龍 13手**

「隣で指してた13手で詰んだ将棋さ、先手も2つの筋、後手も2つの筋にしか指していないって気がついた？」

「龍が動く手が全部で3回もある激しい急戦だったからだろう」

「後手が同角と取る手を逃してからは、先手が指し易くなったよね」

(条件)

- ・ 13手で詰んだ
- ・ 先手も後手も、各々2つの筋の手だけ指した(※)
- ・ 龍が動く手が計3回あった
- ・ 後手は同角(棋譜表記上)と取れるところで、そう指さなかった

※ 相手の指した筋に束縛されません。例えば先手が1・2筋の時、後手も同じ1・2筋でもOKですし、8・9筋のように全然違ってOKです。

**出題のことば(担当 タラパパ)**

龍を3回動かすのは意外に大変。双方全部別の筋ということはない？

追加ヒント：

- ・ 単騎詰ではありません。
- ・ 先手3枚、後手2枚の駒を動かしました。
- ・ 駒打ちはなく急所は4筋です。
- ・ 角の着手はありません。

推理将棋39-3 解答 担当タラパパ

▲3六歩、▽4四歩、▲3七桂、▽4五歩、  
▲同桂、▽4二飛、▲3三桂不成、▽4七飛成、  
▲4八飛、▽4二龍、▲4三飛成、▽6二龍、  
▲4一龍 まで13手。

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	科	龍	王	龍	科	香			一
		龍				科			二
歩	歩	歩	歩	歩		桂	歩	歩	三
									四
									五
						歩			六
歩	歩	歩	歩	歩			歩	歩	七
	角								八
香	桂	銀	金	王	金	銀		香	九

持駒 金歩2

「おもちゃ箱」はTETSUさんのご尽力で、途中の解答状況が見られるようになっていきます。いつもなら出題して2日も経つと早い方は解答してくるのに、今日か明日かと待っても初解答者が出てこなくて、焦ったこと、焦ったこと(^\_^; 原因は明らかに上級問題ですから。

難問ですが、かなりのところまで論理的な推理ができますので、長くなりますがやってみましょう。まず条件「同角と取れる局面あり」ですから、1筋(常識的になし)でない限り、(1)先手又は後手に3筋着手ありと推理できます。

龍を作る最短手数を考えましょう。すべて自力なら先手着手で25歩~33龍のように5手必要。先後合わせて10手かかると、残る3手がオール龍の手。詰めるのは不可能=NGです。従って、少なくともどちらかの龍作りに、歩の壁を取ってもらう相手のアシストが要る訳です。つまり(2)少なくとも1つは同じ筋の着手と推理できます。3つの筋を3筋、A筋、B筋とすれば、「3・A筋 & 3・B筋」「3・A筋 & A・B筋」「3・B筋 & A・B筋」の組み合わせ(場合により、A筋=B筋もありうる)。

龍を作るのに双方で協力すると何手でしょう？最短で後手龍6手、「76歩、32飛、33角・・・」と「76歩、44歩、同角、42飛、77角・・・」の手順で3・4筋が可能。先手龍なら7手で2筋と5～7筋が可能。これを元に龍を動かす手3回をどちらが指したか推察してみます。すべて先手なら、双方で協力して7手で龍を作り（後手2or3筋着手必須）、龍を3回動かす単騎詰しかありえませんが、単騎詰の基本要件は隣接2筋（後手）+1間飛びの筋（先手）ですから、推理(1)(2)から後手3・4筋、先手6筋+（3or4筋）しかありえませんが、68飛、34歩、66歩、同角・・・でしょうか。しかし「同角と取れる局面があったが取らなかった」ですから、現実には後手角によるアシストは不可なので、先手龍3回での単騎詰はNG。すると結論(3)双方の龍が動いたと推理できません。

せっかくここまで推理したのですから、ついでに単騎詰そのものを否定しましょう。61玉型単騎なら後手6・7筋で先手4筋+ $\alpha$ 、(1)(2)に矛盾。41玉型なら後手3・4筋で先手6筋+（3or4筋）ですが、すでに否定されています。51玉型単騎で後手4・5筋に先手7筋は(1)(2)に矛盾。51玉型単騎で後手5・6筋に先手3筋+（5or6筋）も22角を5・6筋に動かすことができず、31に角の利きが残っては矛盾。従って、単騎詰はありません。結論の4つ目、(4)詰に貢献する先手駒は2枚以上（龍+ $\alpha$ ：事実上2枚）。判明したことを纏めておきます。

- (1) 先手又は後手に3筋着手あり
- (2) 少なくとも1つは先手・後手同じ筋の着手
- (3) 双方の龍が動いた
- (4) 詰に貢献する先手駒は、龍+ $\alpha$ （単騎詰ではない）

さて、手軽に龍を作る定跡手筋は、「角を使う」先に示した2手順ですが、「76歩、32飛、33角・・・」は単騎詰しか残らず、22角も外せずNG。「76歩、44歩、同角、42飛、77角・・・」のほうも、先手4・7筋と後手に必須の3筋着手（3・4筋）を加えても、詰上がり形が作れません。つまり尋常の（角を使う）手段では、7筋が貢献できず、条件がまったく満たせないのです。

頭が痛くなりそうなので、複雑なことをぜんぶ頭の中から捨てて、もっと単純に考えましょう。単騎詰でないなら詰上がりは、龍とそれをアシストするもう一枚の駒が必要。後手に”同角”と取る機会があった条件を、先手が33に着手したと決め打って、33の駒プラス龍で後手玉を詰める形を想定できないでしょうか？そう。51玉に対し、33桂に41龍の形がピッタリです。62は後手に埋めて貰いましょう。使うのは3・4・6筋。先手は36歩から33まで桂を一気に跳ねるのです。残る手順はほぼ紛れのない一本道。角でも歩でもなく、桂馬で後手の飛成をアシストする手順は新しく、8手もかけてようやく最初の龍ができる手順が、解答者の盲点になりました。

**橘圭伍** 「桂を4段跳ねさせたけど断念した感じでしょうか？巧い条件で手順を限定させていて感心しました。ヒントはその形に出来ないのは殆ど明白なので・・・と誤ってしまいました」

■出題文で桂の影を見せずに、桂を4回跳ねさせたら43飛成も遊び手にならず美しい。でも条件が複雑化しそう。ん？ヒントは役立たずでした？（汗）

**DD++** 「第一感は「76歩、44歩、同角、42飛、77角、47飛成、48飛 から 62龍、41龍まで」。しかし、同角条件をなかなか満たせない上に紐駒がなく、これをどう変形するか軽く100時間以上悩みました。（落ち着いて考えればこの時点で2筋ずつ着手してるので同角条件を満たせるはずがないんですけどね）。その後、『もしかして先手が33に着手するとして、先手3筋4筋でうまい序があるのではないか』と考えたら、そこからは一瞬でした。おそらくおもちや箱史上最高クラスの難問。小春日和さんの初出題を無事解いてあげることができてホッとしました。」

■初出場で史上最高クラスの難問？ 作者には次回はぜひお手柔らかな問題で（笑）

**リーグ戦ファン** 「ひさびさの泊レベルの難問。単騎詰、角のサポート、駒打ちでサポート、両王手、と試して挫折、さすがに歩との協力では間に合わないよね、と確かめて、次に可

能性があるのは・・・と、桂のサポートに気付きました。3問目はこのくらいの歯ごたえがないとね。ということで、解けてはいたのですが、『同角と取れるところで』条件が必要な理由が分からずに投稿せずにいました。さんざ悩んで、やはり3手龍はこの筋以外に見つからない・・・諦めて投稿しようとしたら、そうか！単に左右対称ですか。この条件では▲76歩が本筋なわけではない（その後7筋が使いにくい）、という思い込みがあって、奇妙な盲点でした。」

■担当者もはじめ不要条件だと思っていましたが、そう、76歩から同じことができます。同角条件はそれを消すだけ。

**斧間徳子** 「出だしは76歩、44歩、同角、42飛とばかり思っていたので苦戦しました。45の歩を桂で取ってもらって飛車を侵入させる手順は斬新。この桂を33桂生と入って活用するのも好感触。遊び手を43飛成とし、龍が3回動いたという条件にまとめる手腕は新人とは思えない。」

■パラのコーナーを見てもそうなのですが、新人作家の作品の高レベルには実に驚かされません。

**香箱** 「難問。角が不動とは気づかなかった。角が駄目なら桂しかない。」

■推理将棋の8割以上は角が参加しますものね。

**NAO** 「ほかの2問が易しかっただけに難問です。『角の着手なし』のヒントがなければ解けなかったでしょう。」

■ほかも決して易しくはなかったと・・・。

**たくぼん** 「難問ということでヒントが出揃ってから解図開始。僅か2分でビンゴ！たまにはこういうこともある。後手同角と取れる場所は33と推測+角不動で筋が浮かびました」

■たくぼんさん、省力の天才！（笑）

**S. Kimura** 「後手の飛車が成って、先手の飛車がそれに着いて行く手順は早くから気付いてい

ましたが、4四歩は角で取るとばかり思っていたので、正解にたどり着くのにとっても時間がかかりました。それにしても、45歩まで進めて桂馬で取らせるとは・・・」

■最短6手で成れる龍を、8手で成らせる順ですから抵抗感があるかも。

**渡辺** 「押して引く感じが手触り良い手順ですね。何故か同角は龍を取れないと駄目だと勘違いしていました。ところでこの同角の条件は必要なのでしょうか？この条件が無ければ自分にとっては少し易くなったのですが・・・。」

■そして第2便。

**渡辺** 「今分かりました。同角の条件、左右反対を防ぐために必要なんですね。これは巧い隠し方ですね。」

■ピンポ～ン (^\_^)/

**ミニベロ** 「角を使ってはいけないことに気が付くまで、遅い遅い！分かってしまえばこれしかないんだけど・・・。」

■角を使おうとすると、7筋の手が以降で役立たずなんですよね。

**はなさかしろう** 「成駒の着手数条件は見た目以上に厳しい限定がかけられるので感じ良いですね。以前11手で龍2回を条件に2問作ったことがあったので、龍単騎か本問の形が詰め上がりの龍配置の本命でしたが、歩の壁は当然角で破るものと思っていたので大苦戦。あんなに追加ヒントを頂いておきながら桂の足の速さにまるで気付かず、相当悩みました。本手順は対称筋でもいけるので第3条件が必要ですが、面白い条件付けで解き終わった後もこのあたりになにかまだあるのかな、と、気を惹かれます。」

■いえいえ、同角条件にそれ以上の意味はありません。但し、この条件が推理をし易くしてはいます。

**まさ** 「これは難問。4筋から後手飛を使うことは考えても、普通は76歩、44歩、同角、42飛、77角、47飛成…から読んで迷路に落ちる。同角ととれる以上3筋をからませるはず、と推

理できるかが鍵。」

■作者には決して難問との意識はなかったようなのです。

**はてるま** 「先手の飛車を早く世に出したいが、2筋から行くと泥沼にはまる（私もはまりました）。桂馬の活用に思い当たってからは一気にほどけました。最後たたみかけるような龍の舞が見事。素晴らしい作品です。」

■ある些細なことに気付けば一瞬。いわゆる目から鱗。

**宮谷保可楽** 「ももとのヒントだけでは解けなかった上に、ヒントが追加されればされるほど、の一みそが混乱してしまったので、解くのを止めました。」

■ぎやぎやぎやっ！

**躑躅** 「こちらは追加ヒント無しで数分で解けました。そんなに難しいとは思わなかったのですが、桂を使うのを思い浮かぶかどうかでしょうか。」

■これが推理将棋の面白さ。発想の転換なのですが、桂使いに気づいた方には一瞬なのでした。

-----  
正解：14名

S. Kimuraさん 斧間徳子さん 香箱さん  
たくぼんさん 橘圭伍さん 躑躅さん  
DD++さん NAOさん はてるまさん  
はなさかしろうさん まささん ミニベロさん  
リーグ戦ファンさん 渡辺さん

-----  
**総評**

**DD++** 「今回は新人特集らしいので私の出番はなさそうだ、と思いつつよく見たら間に混ぜられていて、思わず噴き出していました。こんな回でも私の作品が採用されるとは、よほど問題投稿者が少ないのでしょうか。解答者でよ

く名前を拝見する方々の出題も見てみたいなあ～（チラッチラッ）」

■はあい。新人で揃えるのもまた、当然ながら難しいです。

**S. Kimura** 「これまでもそうなのですが、自力で気付いたことがヒントに出ることが多く、特に39-3は正解への手がかりが増えなくて泣けました。」

■最後のヒントを除くと、たいていは論理的にいえることをヒントにしますから（汗）

**ミニベロ** 「新しい人が解答するには、今回は難しすぎたかもね。私も手間取ってしまいましたから・・・。」

■ミニベロさんが手間取る出題はマズイ。作家の皆さん、ぜひ解きやすい問題の投稿をお願いします。

**まさ** 「上級が難問で、解けたのは海外出張のため搭乗待ちをしていた成田空港。あとは予定通りに出張を終えて帰宅できるか、時間との勝負でした。帰宅後直ちにメールを打っている今の時刻は20日の23時。ギリギリセーフかな？（笑）。」

■楽勝にセーフでした(^)

-----  
推理将棋第39回出題全解答者：18名

S. Kimuraさん 斧間徳子さん 香箱さん  
鈴木康夫さん 占魚亭さん たくぼんさん  
竹野龍騎さん 橘圭伍さん 躑躅さん  
DD++さん NAOさん はてるまさん  
はなさかしろうさん まささん ミニベロさん  
宮谷保可楽さん リーグ戦ファンさん  
渡辺さん

当選： NAOさん

おめでとうございます。

～1手詰?コンクール～ 追記3

担当：神無七郎

以前開催した「1手詰?コンクール」の募集記事で【課題B】の例題として自作557手の図を示しましたが、実はこれには遥かに凄い前例がありました。何と1942年の作品です。

本橋皓作「驀進」1057手  
(将棋世界1942年1月)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		銀	飛						▲なし
	金								一
			飛						二
王			将						三
将			将	将	将		角		四
将			将				将		五
	将		角						六
		将							七
									八
									九

- 93飛成 85玉 84龍 76玉 75龍 67玉
- 66龍 58玉 68龍 47玉 48龍 36玉
- 37龍 25玉 26龍 34玉 24龍 43玉
- 33龍 52玉 42龍 63玉 72龍 53玉
- 62龍 44玉 42龍 34玉 33龍 25玉
- 24龍 36玉 26龍 47玉 37龍 58玉
- 48龍 67玉 68龍 76玉 66龍 85玉
- 75龍 94玉
- 「74龍 84歩 83龍 85玉 84龍 76玉
- 75龍 67玉 66龍 58玉 68龍 47玉
- 48龍 36玉 37龍 25玉 26龍 34玉
- 24龍 43玉 33龍 52玉 42龍 63玉
- 72龍 53玉 62龍 44玉 42龍 34玉
- 33龍 25玉 24龍 36玉 26龍 47玉
- 37龍 58玉 48龍 67玉 68龍 76玉
- 66龍 85玉 75龍 94玉」×18
- 「74龍 84香 83龍 85玉 84龍 76玉
- 75龍 67玉 66龍 58玉 68龍 47玉
- 48龍 36玉 37龍 25玉 26龍 34玉
- 24龍 43玉 33龍 52玉 42龍 63玉
- 72龍 53玉 62龍 44玉 42龍 34玉
- 33龍 25玉 24龍 36玉 26龍 47玉
- 37龍 58玉 48龍 67玉 68龍 76玉
- 66龍 85玉 75龍 94玉」×4
- 74龍 まで 1057手(香4歩18余る)

この図の出典は「将棋図式集(上)」(ちくま学芸文庫)です。「象戯大矢数」の巻頭番外作の解説の参考図として載っていました。上記手順は手数から推定したのですが、例の馬鋸の龍追い版として紹介されていたので、これでまず間違いないでしょう。原資料は持っていないので解答募集などが行われたかどうかなどは不明です。

手順を並べてみれば明らかですが、初手から44手経過した局面が【課題B】で募集した原形復元型無駄合を含む「1手詰?」の条件を満たす図になっています。ただし、あの課題ではすかし詰型の合駒も無駄合概念なしの場合の手数に数えていたので、その流儀で言えば最終手74龍に対し「84龍 同龍」とする2手を加えることになるでしょう。残念ながらこの図では作意1023手目(最後のサイクルで47玉とした局面)から49香 36玉 38龍 25玉 29龍 34玉 24龍 43玉 45香 同銀上 44金 52玉 22龍 32香 同龍 63玉 72龍 64玉 65歩 同玉 75龍 まで1043手で詰む早詰がありますが、それでも大記録には違いありません。単純に序の44手を削って「1手詰?」の条件に合うようにしても999手(!)ですから。

もし今後【課題B】に挑戦される方がいらっしゃいましたら、ぜひ千手越えを狙ってみてください。

また当時この作が発表された時の状況(解答募集が行われたか、余詰指摘・修正図はあったか、他にこれを凌ぐ記録はないか等)についてより詳しい情報をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひ情報をお寄せください。



# 妖精賞の系譜 (17)

## 第 21 回 妖精賞 (2008年)

この期も、担当者の片岩氏の選考によって妖精賞が決定しました。なお発表号(2009年7月号)には第20回妖精賞決定!!と表題がありますが、前回は申しましたが第21回の間違いです。

### 【短編部門】

詰将棋パラダイス 2008年2月号  
金子清志 作 キルケばか自殺詰 14手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							と	王	一
							と	歩	二
							と	王	三
							と		四
								飛	五
									六
								飛	七
									八
									九

持駒 飛香3

19飛 同桂成 /28飛 18飛 17香 同飛 同桂  
成 /28飛 16香 同成桂 15香 同成桂 14香  
同成桂 13香 同成桂 迄 14手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							と	王	一
							と	歩	二
							と	王	三
							と		四
									五
									六
									七
							飛		八
								王	九

持駒 なし

### 片岩裕貴 (妖精賞発表時コメント)

短編部門の金子作は収束の香の4連打が見事な作品です。3筋の壁駒の存在を補って余りある美しい手順です。

### 解説 (片岩裕貴)

香の4連打の収束が美しいです。キルケなので、最後の13同成桂に対して同玉?と取るのは、21に桂が再生するので禁手となります。キルケではこのように自分自身にヒモをつけていることがあります。

序奏は香が19に再生しないように19を駒で埋める手順と、1枚足りない香を補充する手順がうまく挿入できています。この右下のからくりが必要な駒だけで成立しているのはすごいと思います。

### 山田立

香が一枚足りないなんて考えているうちにはたと思い当たった。17に桂を打つ必要なしと。

### 市村道生

素晴らしい詰上り。ミニ趣向の優雅な手順。毛並みのよい秀作。

### 須川卓二

4つ目の香を合駒で取るのが凄い。詰上りも味わい深い。

★ これは記憶に残ってます。4連打最高!

### 【中編部門】

詰将棋パラダイス 2008年6月号  
北村太路 作 最悪詰 44手 (受先)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
						王			三
馬			歩		歩			王	四
銀	歩	歩			歩				五
金	桂	歩	歩	歩	桂		香		六
飛					香		王		七
歩						歩	歩		八
龍		馬		香	龍				九

持駒 なし

88 金 19 龍 15 歩 同龍 同玉 16 歩 26 玉  
 59 馬 48 香 同馬 37 桂 同馬 同玉 29 桂  
 36 玉 37 香 45 玉 54 桂 46 銀 同香 55 玉  
 44 銀 65 玉 83 馬 74 金打 同馬 同金 55  
 金 76 玉 79 龍 77 角 同龍 同玉 68 角 87  
 玉 97 金 同玉 89 桂 同金 79 角 88 飛  
 同角 96 玉 97 飛 まで 44 手

詰上図

										9	8	7	6	5	4	3	2	1
										一								
										二								
										三								
			香	歩	桂	銀	歩			四								
銀	歩	歩		金						五								
王	桂		歩	歩	香			歩		六								
飛						香	歩			七								
歩	角					歩	歩			八								
	歩				香		桂			九								

持駒 なし

**片岩裕貴 (妖精賞発表時コメント)**

中編部門の北村作は最悪詰というルールを活かして順列七種合を実現しました。

**解説 (神無七郎)**

初手 88 金は収束に備えた伏線。要は詰めるのに最も都合の良い配置を考えれば良いのですが、最悪詰の感覚に慣れないとこの手を思いつくのは難しいと思います。

**市村道生**

77 角合は絶妙な継続手。これで綺麗な順列七種合の名局が誕生

**須川卓二**

とりあえずは初手は保留で進めると、なにやら順列で合駒が出てきた。これはさまかとドキドキしながら金合まで来たらこれはもう順列七種合しかない。ここからは作品を創るように初手の配置を考えました。88 金できれいに角、飛と合駒が出た時には感激！息を呑む傑作でした。

★ これも記憶に残る作品。最後は解いているより創っているという感じでした。

**【長編部門】**

詰将棋パラダイス 2008 年 4 月号

中村雅哉 作 プルーフゲーム 56 手

後手持駒 飛桂香歩 8

										9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						王	金	銀	桂	香									一
	飛								角	角									二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩									三
								香		香	王								四
																			五
									銀	銀									六
																			七
																			八
							金	歩											九

持駒 金銀桂2歩

16 歩 14 歩 15 歩 同歩 16 香 同歩  
 17 桂 同歩成 18 飛 27 と 28 銀 同と  
 38 金 同と 12 飛成 37 と 21 龍 47 と  
 32 龍 57 と 72 龍 67 と 81 龍 77 と  
 91 龍 87 と 71 龍 97 と 72 龍 88 と  
 32 龍 99 と 72 香 同金 同龍 89 と  
 32 龍 79 と 21 龍 32 角 12 龍 21 桂  
 13 龍 12 歩 79 金 69 金 48 玉 44 香  
 37 玉 36 銀 26 玉 24 香 15 玉 26 銀  
 14 玉 13 歩 まで 56 手

**片岩裕貴 (妖精賞発表時コメント)**

長編部門の中村作は、プルーフゲームで驚異の 50 手超えを果たしました。普通かしこに当てはめれば千手超えに匹敵するくらいの快挙ではないかと思ひます。これは一つの金字塔として記録にとどめておかねばならないと思ひます。

**解説 (片岩裕貴)**

これだけの長手数 of 将棋プルーフゲームが成立しているのはにわかには信じられませんが。分析していくと、実に上手く作られていることがわかります。

まずは定跡通り双方の手数を数えてみます。先手の手数は不確定要素が多すぎるので、後手の手数に注目することになると、盤上に先手の駒が 14 王と 79 金しかないのので、それ以外の 18 枚は後手が取ったことがわかります。ま

た、後手の4枚の香に注目すると、3枚は明らかに取ったものなので（先手が取った後、後手に渡った）、合計19手以上が駒取りに費やされています。続いて駒打ちの手を考えると、駒打ちが明らかな32角、24香、44香のほか、13歩も12から動いた駒なので打たれた駒です。また、出題図のような先手の持駒になるためには、少なくとも金桂各1枚と銀2枚は打たれていなければなりません。単純に19枚取ったのに持駒に11枚残っているから、と考えてもいいと思います。いずれにしても、8手以上が駒打ちに費やされています。

駒取りと駒打ちは同時にはできないので、後手の指し手28手のうちの27手は駒取りか駒打ちで、どちらでもない手は1手しかありません。また、駒取りが20回以上あったと仮定すると、持駒の枚数の関係から、それに伴って駒打ちの回数も増えるので、56手という手数に収まらなくなり、駒取り19手・駒打ち8手が確定します。更に、駒取りまたは駒打ち以外の手が1手しか指せない（後手の最初の指し手）上に、打たれた駒も限られているので、出題図で初形配置の位置にある後手の駒はほとんどが初形から動いていない駒であるということもわかります。特に、2～9筋の歩に関しては全く動いていないことが言えます。

後手の指し手の解析がある程度進んだので、先手の指し手についても考えてみます。後手の61～91の金銀桂香は後陣から出ずに取られたと考えられますが、これらの駒を取るためには、3段目の歩が動かさない条件では、龍（飛）以外の駒では不可能です。そして、前記の理由からその進入経路は1筋からであることが明らかです。

このくらいまでわかれば、解図の方針も見えてくるので、順算と逆算を絡めて手順を組み立てていきます。後手の歩は1筋のものしか動かさないことがわかれば、出だしは16歩、14歩、15歩…だと決まるので、むしろ考え易いと思います。

手順のポイントは、72龍～72香～72同龍の辺りで、駒取りでも駒打ちでもない手を指すのは心理的にやりにくいのです。また、その後の龍が動いた跡に駒を打っていく手順は、趣向的で面白いと思いました。

## 駒井信久

それにしても、これだけの手数で限定できる

とは驚異的。最後、連続王手で詰むのもよくできています。

## 市村道生

61金を消去する辺りが山場で、42馬のような平凡な着想では挫折する。理詰めで解けるが、緊迫感が漲る。力作。

## 真T

なぜ先手は2枚桂を持っているのか、そこにヒントがありました。龍を使うとは！傑作！

★ 下手な解説は見苦しいので、手順解説はこちらでご覧下さい（↓）作者本人による投稿原稿です。11ページに渡る読み物となっております。読み応え十分です。

### WFP 第1号

<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/takuji/WFP1.pdf>

★ 詰備会の時に、作者がいらっしやっていたので、ちょこっとヒント（考え方）をもらって平井教授と一緒に現場で考えたのを思い出しますね。それにしてもブルーゲームで56手の完全作って本当に凄い手数だと思います。ブルーゲームの最長手数競争なんて催しやっても面白いかもしれませんね。10手代でも余詰が出やすいですからかなりの読みの料が必要でしょうね。



# 解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

1月8日(土)

Onsite Fairy Mate 166 回出題  
\*協力詰(兎入り) 1 題

1月15日(土)

第29回WFPフェアリー作品展

# 作品募集締切一覧

2011年1月15日(土)

Fairy of the Forest #26

課題: 「突き歩詰」の協力詰

2011年1月15日(土)

フェアリー詰将棋の年賀詰

送り先: たくぼん takuji@dokidoki.ne.jp

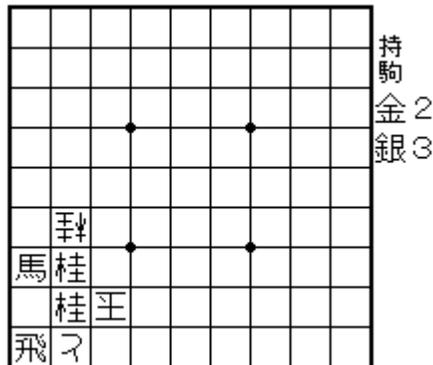
\*\*\*\*\*

あとがき

私事ですが、今年12月7日で結婚25周年(銀婚式)となりました。山あり谷ありでしたがお互い好き勝手な事やって共通のスポーツもしているというのがよかったのかここまであつという間でした。

まあ記念にということで何かフェアリー作品を創ろうかなと7日当日に思いまして(遅っ)即興で作って解図日記に載せたのが次の図でした。

強欲詰 19 手



作意は、

77金 同玉 86馬 同玉 78桂 87玉  
98銀 78玉 89銀 67玉 68歩 同玉  
79金 同玉 98銀 88玉 89銀打 99玉  
88銀打 迄 19手

でしたが、橋本孝治さんより解答が届いて以下の解答が。

77 金 同玉 86 馬 同玉 78 桂 87 玉 98 銀  
78 玉 89 銀 68 玉 79 銀 同玉 98 銀 88 玉  
89 歩 99 玉 88 銀 98 玉 99 金 まで 19 手  
詰

う〜む見事に余詰でした。10手目67玉には78銀という手がありました。折角の祝い事が案の定といいますか・・・私らしいおちでした。修正案はしばらくお待ち下さい。できれば25手にしたいと思うのですがどうなりますやら。

たくぼん

2010年 第30号

## Web Fairy Paradise

非売品

平成二十二年十二月号

平成二十二年十二月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合先

須川卓二 takuji@dokidoki.ne.jp